

りようCaféのご案内

1. りようCafé Zoom

●2021年2月5日(金)19時~21時

今回のテーマは海老川上流地区のまちづくり。進捗状況や課題などをご報告し、皆様のご意見を伺います。参加者からの船橋市政に関する質問や提言等をお聞きする時間もつくります。

*ミーティングID等は、事前に公式ホームページやSNS等でご連絡します。



2. 出張りようCafé

●3人以上の人数を集めていただければ、石川りようが市内のどこにでも伺ってりようCaféを開催いたします。お問合せください。

●日々の相談事や、船橋市政へのご意見・ご要望等は、お一人からでもいつでも受け付けています。ご都合の良い日時と場所に伺います！

*参加費無料。途中入退室はいつでも可能です。お気軽にご参加ください！

*日時等の変更の可能性があるため、石川りよう公式サイト、SNS等で必ずご確認ください。

プロフィール

【学歴】

栄光幼稚園、芝山西小学校、芝山中学校、八千代高校、立教大学法学部国際比較法学科、英国国立マンチェスター大学院、早稲田大学公共経営大学院

【職歴】

青年海外協力隊、国際連合インターン、開発コンサルタント、外務省(外交官)を経て、船橋市議会議員(健康福祉委員長)

【資格など】

法学士、開発学修士、公共経営修士、TOEFL(CBT)257点(TOEIC915点相当)、仏語検定3級、プロジェクトマネジメントスペシャリスト(PMS)、政策学校「一新塾」32期生、ビール検定2級、ふなばし市民大学校平成26年度ボランティア入門学科



▲国際協力の伝道師として大学などで講演もしています。

連絡先

ご意見やご質問、ご要望を何でもお寄せください！

石川りよう公式サイト
<http://www.ishikawaryo.net>



もやっています。

発行者:石川亮
住所:船橋市芝山3-26-1
携帯電話:080-6575-4711
固定電話:047-463-2690
メール:info@ishikawaryo.net

この通信でご紹介できている活動内容は、ほんの一部です。詳細な内容やその他の活動は、石川りようのブログを是非ご覧ください。

石川りよう アメブロ



で検索! または、QRコードはこちら →



船橋市議会議員 無所属

石川りよう通信

Vol.34 討議資料

将来の船橋市の財政は大丈夫か?

このタイトルは、令和2年第4回定例会の一般質問で、市長に対して問いかけた私の率直な心配です。

令和元年度と今年度の2年間をかけて、船橋市は「集中取組期間」と銘打った行財政改革を実施しています。この行革により約20億円の成果が見込まれています。しかし、現時点における船橋市の計画では、近い将来、下表のような大規模事業が予定されています。もちろん、この全ての金額は、船橋市だけが払うものではなく、国や県の補助を得られるものもあります。しかし、それにしても莫大な金額であり、現在実施している行革が虚しいものを感じるのには私だけでしょうか?

現在の行革を行っている一つの原因は右上の表で列挙した、この10年以内で一斉に実施された大規模事業等によって市

この10年以内で実施された大規模事業	
南北清掃工場の建替え	約415億円
三番瀬環境学習館の建設	約22億円
市立船橋高校第3体育館の建設	約26億円
運動公園市民プールの建設	約23億円
ふなばしメグスパの建設	約11億円

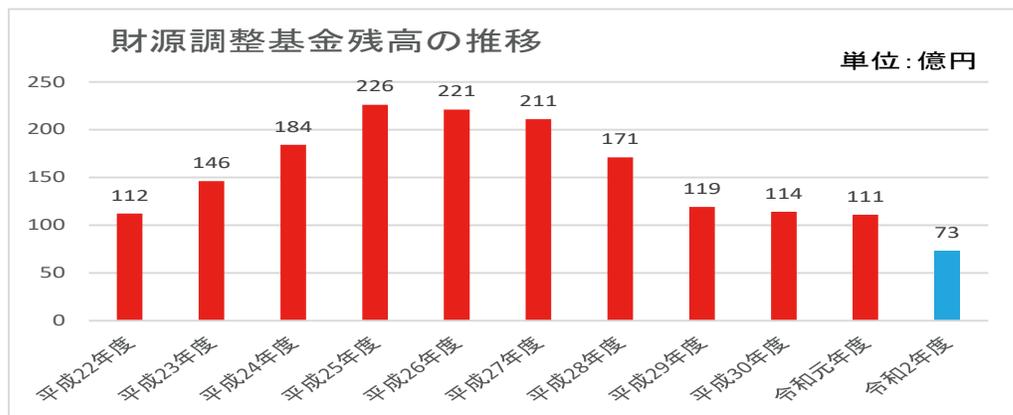
のお金が無くなってしまったことだと私は考えています。それにもかかわらず、現在の行革の集中取組期間が終わった直後から、また新しいハコモノ事業が待っているのかと思うと、船橋市の将来の財政が心配でたまりません。この私の懸念に対する市長の答弁は、「非常に厳しい財政状況の中で全体としてやり遂げられるのかという指摘は当然だと思う」ということでした。そうであれば、もっと深刻に考えるべきです。

船橋市の財政状況はカツカツです。その証拠に、本市の経常収支比率は令和元年で96.1%。これは、毎年決まって入る収入と決まって出る支出を比較して、市が自由に使えるお金が4%(約48億円)くらいしかないという意味です。しかも、その4%も臨時財政対策債という借金を使わなければ賄えない状況なのです。【次ページへ】

船橋市で予定されている大規模事業

令和3年度以降	海老川上流地区の土地区画整理事業に対する市負担金	約56億円
令和7年度	児童相談所	約16億円
令和8年度	東葉高速線の新駅整備(海老川上流地区)	約50億円
令和8年度	市立医療センター移転建替え	約437億円
時期未定	消防本庁舎建替え	未定
時期未定	二和向台駅南側の国家公務員宿舎の跡地活用	未定

【前ページの続き】市の貯金である財源調整基金は、ピークだった平成25年度の約226億円から減少を続け、令和元年度には決算ベースで約111億円と半分に、そして、現時点では、予算ベースではありますが、約73億円へと減少してしまっています。



▲平成22年度から令和元年度までは決算ベースの金額。令和2年度のみ現時点での予算ベース(今年度末以降増額される可能性あり)

今後の財政運営に対して、財政担当副市長からは、①普通建設事業の見直しと、②一般財源の使われ方のさらなる見直しについて言及がありました。現時点で計画されている前ページで示した大規模事業のうち、廃止や延期を含めて見直される事業が出てくる可能性があります。そして、今まで当たり前に使われていた経費(扶助費や人件費等)であっても今後は見直される可能性があるということだと捉えています。執行部も詳細な中身はこれから検討していくとのことなので、その内容については注視していきます。今後は、新型コロナウイルス感染症による大きな影響もあります。これからは「持続可能性」という観点から、財政を含め、今後の船橋市のあり方を考えていきたいと思えます。

【パートナーシップ制度の創設を求める陳情を賛成多数で採択】

パートナーシップ制度とは、同性カップルなど様々な事情により法的に婚姻することができない二者に対し、パートナーであることを公的に証明する書類の交付を行うことで、社会的にも行政上も法的に婚姻した二者と同様の扱いを受けられるようにする制度です。本制度は全国60以上の自治体で導入されており、千葉県内でも千葉市と松戸市ではすでに制定されています。船橋市でも開始して欲しいという陳情が、令和2年第4回定例会にて、賛成多数により採択されました。船橋市議会には「性の多様性を考える議員連盟」があり、市内のLGBTQ当事者や市役所と議論を重ねてきました。近い将来、本市にも同制度が導入されると、私は確信しています。



▲議員連盟の議論の様子

児童ホーム体育室へのエアコン設置が決定

令和元年船橋市議会第2回定例会に、市民の方から「夏は30度を超え、冬は10度を下回る児童ホームの体育室に冷暖房を設置してください」という趣旨の陳情が提出されました。私が委員長を務める健康福祉委員会が所管となり、委員全員で児童ホームを視察し、利用者や職員の生の声を調査した結果、夏と冬の利用環境が過酷であるという実態と、エアコンが設置されている館(7館)とされていない館(14館)があり、不公平な状況が生じていることがわかりました。委員会調査を踏まえた令和元年第3回定例会にて、この陳情は全会一致で採択されました。しかし、その後の1年間、執行部の動きは鈍く、実現されてきませんでした。健康福祉委員会は、この間、何度も委員会を開き、執行部に対して、検討状況はどうなっているのか?エアコンを設置する意思はあるのか?などの聞き取り調査を行ってきました。この度、その努力が実を結ぶことになりました。順次工事をを行い、今年の夏までには全館に設置される予定です。



▲西船児童ホームの体育室

高校生と船橋市議会議員との意見交換会の開催

千葉県立船橋芝山高校の2年生(8クラス)と船橋市議会の有志議員8人で意見交換会を実施しました。各議員が1クラス1時限単位で、合計2クラス2時限を担当しました。学生たちは、事前に、議員に質問したい船橋市の課題を3テーマずつ考えてくれており、私の受け持ったクラスでは、海老川の汚染の問題、市内の道路の問題、災害時の避難所についてなど、活発で深い意見交換ができました。学生たちのこれまで持っていた古くて固い議員のイメージを良い意味で変えることができたと確信していますし、議会や議員の仕事はどういうものなのか理解してもらえたと思っています。

日本の教育現場は政治と距離を置いてきた世界。議会や政治家というと「アレルギー反応か?」と思うほど拒絶される経験もありました。しかし、本当の主権者教育を行っていくために、そして、我が国の民主主義を進化させていくためには、議会や議員と学校との協力は大切なことだと考えます。なぜなら、政治や行政に携わっている議員にこそ、真の政治が語れるからです。私が副委員長を務める船橋市議会広報委員会は、今後もこのような活動を広げていきたいと考えています。議員との意見交換会や議会出前講座などに関心があるという方は、是非ご一報ください。

